

## スケルトン型DAコンバーター

# DA-5000W HG

CDによる高忠実度再生の成功と失敗は、CDプレーヤーの  
DAコンバーターが鍵を握っています。

これまでのDAコンバーターも、オーバーサンプリング等の  
技術を駆使して賢明な努力を続けてきましたが、  
解明が精度を増してくると方々に思いがけない  
問題点を抱えていることがはっきりしてきました。

当社ではCDの根本原理にまで立ち返って、実験と試聴を重ね、  
ようやく「スケルトン型DA-5000W」を完成することができました。

DA-5000Wは管球出力方式ですが、更に1年の開発期間を  
経て純半導体出力式の”HG”タイプが加わりました。  
音質は良くても管球式の課題だった、マイクロフォニックノイズ、  
長期安定性、管自体の音のぼらつき等を解消すべく当初から研究を  
重ねて参りましたが、ようやく音質面でも現在の管球式を完全に  
凌駕するレベルに達しましたのでこの度、発表の運びに至りました。



## 【基本構想】

CDプレーヤーの決め手がDAコンバーターにあることは広く知られています。当社ではひたすら「音の鮮度」を追求して開発を進め、既に[DA-2000]で好評を戴いておりましたが、その後10年をかけて更にデジタル／アナログの変換機構に一步踏み込み、最善と思われる「スケルトン型 DA-5000W」に到達しました。

「スケルトン」は根幹という程の意味ですが、音の鮮度に悪影響のあるデジタル、アナログのフィルターを一掃し、不要な機能もすべて省いたベーシックなモデルです。

一方、サンプルレートコンバーターにより、DAC(IC)の直前で高速リクロッキングすることで波形のスムージングとジッターの極小化を図るなど、最新技術は積極的に取り込んでいます。

これらの技術革新により、どんな音の姿になったか、是非、一度試聴してみてください。デジタル録音の本当の良さが納得でき、古いCDが精気をもって甦ります。

## 【ウッドケースの採用】

本機を開発の途中、ケース本体を金属製から木製にすることにより意図していた「音の鮮度」が一層際立つことを発見し、比較的影響の少ないフロント、リアのパネルのみアルミとして、ケースの上下、左右をすべて木製とすることにしました。

木製の場合の木材の種類による音質の変化も含めて、最善のセレクトを完了しました。これが「DA-5000W」型です。

木製ケースのコストは安くはありませんが、製造の合理化によって最低のアップに抑え、ひたすら「音の鮮度」保持を実現することができました。

## 【本機の仕様】

◆ 対応デジタル信号	24ビットまでの標準デジタル信号
◆ 対応サンプリング周波数	32～192kHz (RCA入力) 32～96kHz (TOS入力)
◆ リクロッキング周波数	約100kHz
◆ デジタル入力端子	RCAピンジャック、TOS 自動切替 (TOS優先)
◆ オーディオ出力	高性能半導体DCカップル出力
◆ オーディオ出力端子	RCAピンジャック
◆ 本体寸法	440W×110H×350D
◆ 重量	約5.0kg
◆ 消費電力	約15W
◆ 特長	ブロック毎の5トランス、別電源構成

試聴、貸出機の用意があります。  
メールまたはFAXでお申し込み下さい。

---

## 株式会社 日本オーディオ

〒164-0011 中野区中央5-4-24 第5小河原ビル501号

TEL 03-5340-3020 FAX 03-5340-3023

E-mail:nipaudio@netlaputa.ne.jp

URL:http://www.netlaputa.ne.jp/~nipaudio/